

はじめに

情報社会学会の皆様

情報社会学会誌 Vol18, No1 をお届けいたします。本年は、コロナ禍が通常の日常に戻りつつある学会活動を過ごしました。デジタル技術やインターネット、テレワークが大きく見直されましたが個別の技術や事象だけでなく、生成 AI の普及により第 4 次産業革命と呼ばれた時代が日常になる時代が訪れつつあり情報社会としての学の見通しが望まれる時代になった事を強く自覚しました。

本号では、招待論文と 2 本の原著論文、3 本の研究ノートを掲載いたします。いずれも、萌芽性、新規性、さらなる研究への発展の期待があり、情報社会学への貢献は大きいと考えます。

招待論文「情報社会の智本主義」は、マルクスの『資本論』の類比概念として「智本論」の観点から近代化の現段階としての情報社会について検討した論文で、執筆者の公文が長年にわたって検討してきた「情報社会」の新しい定義を試みる論文で、情報社会学の今後の発展に指針を与えるものであり、情報社会学の新たな知見を開いた研究であると考えます。

原著論文「製造業における熟練技のコンピテンシーマネジメント～技能伝承のための暗黙知の抽出及び形式化手法～」は、製造業においてベテラン作業者が発揮しているコンピテンシーを抽出する手法について提案し、熟練技を必要とする製造工程においてその妥当性を検証することを目的とした論文で階層的タスク分析からベテラン作業者のコンピテンシーの特定、さらにそれを新人が習得可能にするための技能伝承コンテンツ制作に至るまでの一連のコンピテンシーマネジメントプロセスを考案し精密機器製造企業において実践検証を行った論文である。実践的な研究の視点から今後の研究・応用・実践が期待されます。

原著論文「イデオロギーとマルクス主義に関する知識社会学的検討」は、社会の知的分断のケース・スタディとして、日本のアカデミアにおけるマルクス主義とそのバリエーションおよび「社会の在り方に関する知識の在り方」についてマンハイムの知識社会学を用いて検討した論文である。日本のマルクス主義の思想史的な遷移と、そのバリエーションおよび 1930 年代に起源を持つ知識社会学の分析枠組みを並置することによって、一方には、思考やイデオロギーがあり、また他方には社会状況があって、両者が相互に関係付けられていることを示し、階級社会から「高度大衆消費社会」もしくは「新中間大衆の時代」への移行という社会状況の拘束性を軸にして研究した論文で今後の研究の発展に期待します。

研究ノート「中国における新型コロナウイルス感染症に関するフェイクニュース—時系列的変容を中心に—」は、中国のファクトチェックサイト・微信「較真」が「フェイクニュース」と判定した新型コロナウイルス感染症に関する情報（751 個）を収集し、KJ 法を使って分類し関係図を作成し全体の特徴を明らかにすることデータ収集期間 2 年半を第 1 期と第 2 期に分け一般市民の関心が医療公衆衛生情報から日常生活情報に変化したことを明らかにした研究である。情報の真実性の研究は情報社会学にとって重要であり、今後の研究の発展に期待します。

研究ノート「故障予測及び作業内容予測機能を持つ保守作業支援システムの提案」は、保守業務における長期ダウンタイムと技術伝承コストを削減する保守作業支援システムの提案とシステムの中核となる部品交換予測モデルと保守作業内容予測モデルの研究である。部品交換予測モデルでは、機器の使用履歴から交換記録を学習し、評価データにより評価を行った。また、作業内容予測モデルでは、問題発生時の現象記録から作業カテゴリを予測し、82.3%の高い正解率であることを検証した。情報社会における実践的研究として評価され、今後の研究の発展に期待します。

研究ノート「地域イノベーションを導く人的ネットワーク形成要因の研究-起業家育成プログラムにおけるPBL事例を通じて-」は、起業家育成プログラムにおけるPBLケーススタディを用いて検証することで、この結束プロセスの態様をさらに明らかにした研究である。著者らは、先行研究において、社会課題の解決という共通の目的を持つ起業家ネットワークが、地方と都市部の双方において結束力を高めていく過程を実証しており、本研究で社会課題の解決などの共通目的の言語化を通じて地域内ネットワークは、その質の転換を伴いつつ結束化し、更なる共通目的の広がりが地域間ネットワークの拡張へつながる可能性を明らかにした。今後の研究の発展に期待します。

多くの研究が投稿され、多岐にわたる研究分野の成果が報告されました。今後のさらなる研究の発展に期待します。会員の皆様の積極的な研究活動に期待すると同時に、情報社会学に関する多彩なご投稿をお待ちしています。

2023年9月27日

情報社会学会
副会長・編集委員長
大橋 正和